

2019.2.10

# 支 部 通 信

No 75



長野県電気工事業工業組合長野支部  
合同会社長野電気引込工事センター

## 目 次

			ページ
1	Top Message	支 部 長 大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中 部 電 力 (株) 飯 山 営 業 所 永井左千夫	----- 3
3	地 区 だ よ り	更 埴 地 区 酒井 重喜	----- 4
		長 野 東 地 区 町田 幸司	----- 5
		中 野・飯 山 地 区 村石桂太郎	----- 6
		長 野 東 地 区 伊東 敬晃	----- 7
		須 高 地 区 竹前 廣克	----- 8
4	フ リ ー ト ー ク	須 高 地 区 藤澤 一彦	----- 10
		長 野 西 地 区 千野 貴文	----- 11
		長 野 東 地 区 伊藤 邦雄	----- 12
		更 埴 地 区 大塚 孝男	----- 13
		中 野・飯 山 地 区 永井 竹彦	----- 14
5	電 工 組 青 年 部 だ よ り	青年部会長野支部 望月 一宏	----- 16
6	今 年 の 抱 負	電気会館事務局	----- 17
7	編 集 後 記	総 務 委 員 高津 和忠	----- 18

(敬称略)

### ♪ 表紙写真 ♪

#### 「ヤマガラ」 ～ シ-ズ 鳥 No.3 ～

全長 14cm。体の大きさに比較し頭が大きく、尾は短め。小笠原諸島を除きほぼ全国に分布し、留鳥として繁殖しています。ヒナに与えるのは昆虫類やその幼虫ですが、堅い木の実も食べます。ことにエゴノキの実を好み、秋にはくちばしでたたいて穴をあけ、中身を食べている姿をよく見かけます。この実をたたく姿が愛らしいとして、かつては「おみくじ引き」「つるべ引き」などをさせて見世物にしていたことがあります。

(山ノ内町夜間瀬にて撮影)

写真撮影：白井 長人 様

# 「猪突猛進で、今年こそは！」



～ あ～！いい湯加減だ！ ～

支部長 大田 敬 壹

「雨は夜更け過ぎに、雪へと変わるだろう、フフフ～♪」  
こんな曲がクリスマスの頃あちこちからよく聞こえた。クリスマスソングの定番、山下達郎の「クリスマスイブ」。その頃はきっと雪のない正月が来ると思っていた。それでもクリスマスイブの前日、小雨が夜更け過ぎに雪へと変わり、薄らと雪景色になった。そして正月も大きく崩れることはなく、穏やかな年明けとなった。この頃、いつも思うのだが、子供のころ指折り数えて待っていたクリスマスもお正月も、一月の朝影に追われる明星のように、足早に去っていく。元旦の朝、風呂の湯に浸かりながら、「あ～、いい湯加減だ」と窓辺の光に揺れる湯けむりを眺めて、ふと一年を思った。

改めて、新年のご挨拶を申し上げます。また、平素は長野県電気工事業工業組合長野支部並びに長野電気引込工事センターの活動・運営に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。

「昔から人生には三つの坂がある」と去年の支部通信に書きましたが、その「まさか」が、昨年も続いてしまいました。引込における無断工事という「まさか」です。既に各地区の定例会等で話が出ているので詳しく書きませんが、困った時は一人で抱え込まず、「中部電力さん」・「センター」・「各地区長さん」に、まず相談して下さい。昔から「喜びは二人で分かれば二倍になり、悲しみは半分になる」といわれます。とにかくほかの人に相談しましょう。ときに良い方向に変わるものです。

時代は変わっています。そして、まだまだ大きく変わります。「昔は出来たから」という思い込みは、もう通用しません。交差点を車で通るとき、黄色の信号は「急いで渡れ」ではなく、「止まれ」です。ちょっとした見落とし、不注意が大きな事故に繋がります。結果的に一部の不祥事（事故）であっても、お客様からの「信頼」を損なうこととなります。『今年こそは！「無断工事」をなくしましょう！』

さて、会員の皆様からは、新增設等の引込工事の依頼、中部電力様からは引込線点検改修工事等のご発注を頂き、また専門班様のお蔭で長野電気引込工事センターも、昨年は順調な運営ができました。改めて感謝を申し上げます。また、工業組合の様々な活動にも、ご理解とご協力を頂きましたことに感謝を申し上げます。

そして、いつもの余談。「ほどよい」という感覚は、時代とともに変わるらしい。平成元年と現在とを比べると仕事上の飲食や飲酒は、2時間20分から1時間40分に短くなり、人によって様々ではあるが、入浴時間も男女ともに4分～11分も短くなった。逆にパソコンやスマホを使う時間は、2倍に伸びている。デジタル社会が「ゆとり」を

奪っているともいわれている。日本社会は昔から、ある種のバランス感覚を持っていて、「ほどよい」ラインで痛み分けしてきた。それが近年では、何かあると過剰なまでに反応や対応をするケースが増えている。最近、その「ほどほど」の良さを見直す動きもある。宇宙開発の分野だ。これまでは、信頼性の追求で開発が長期になり、費用もかさんだ。その上システムが複雑化し、かえって人的ミスを招きやすくなった。むしろ「ほどほど」の機能で十分。シンプルにして信頼性を維持する。

そんな思想にたったのが、東京大学のプロジェクト「ほどよし信頼性工学」だ。大幅な軽量化とコスト削減を図った超小型の人工衛星「ほどよし号」の打ち上げに成功している。「過ぎたるは及ばざるがごとし」という。日本の「ほどよい文化」を守りたい。(信濃毎日新聞斜面) 「やっぱり、風呂の湯加減は、ほどよいが一番 !!」

今年は亥年です。干支の十二支の中では、最後の年にあたります。それは新たに芽を出すために中身を固める年だそうです。昨年、峠の道で、車の前に飛び出してきたウリボウ（イノシシの子供）が、右往左往、走り回る姿に思わず笑みがこぼれましたが、本年も皆様にとりまして、「福德円満」の一年が過ごせますように、心からお祈り申し上げます。

長野支部新年会  
1月23日（水）  
メトロポリタン長野





## ご挨拶

中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー

飯山営業所長 永井 左千夫

新春を寿ぎ、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社事業に格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

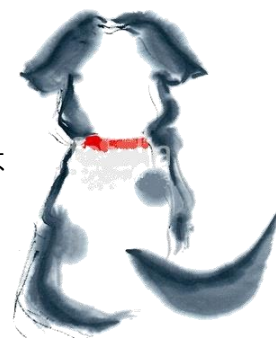
さて、昨年の干支は十二支の「戌（いぬ）」でした。この戌年に使われている漢字の「戌」には草木が枯れるという「滅（めつ）」の意味があり、「災い」と解釈されることがあります。そのためか昨年は地震、豪雨および台風などによる災害が発生し、当営業所管内においても、21号・24号の台風では他営業所と比較して規模は小さかったものの停電被害が発生しました。また、皆さまに関わることとしては「インターネット受付」のシステム不具合が発生し、大変ご迷惑をおかけしました。他にも様々な災いが起こったかと思えます。

今年の干支は「亥（いのしし）」です。この亥年は、十二支の中では最後の干支であり、「次のステージへと向かう準備をする」という意味があります。弊社は来年の2020年4月に一般送配電事業等および小売電気事業等の会社分割を行う方向性を決定し、その準備を円滑に進めるために今年の4月に分割準備会社を設立いたします。まさに、一般電気事業者としての次のステージへ歩を進めることとなり、これに向けた準備としてシステムや業務運用の変更が予想されます。引き続きのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後、私たちを取り巻く環境は大きく変わろうとも、「暮らしに欠かせないエネルギーをお届けして社会の発展に貢献する」ことの使命に変わりはありません。そのため、配電設備の形成に必要な引込線工事等を担っていただく引込工事センター様はもとより、お客さまの屋内配線を施工する皆さまの重要性がより一層高まって参ります。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。



最後になりますが、「健康と安全」は、何よりも優先し、人を元気にする源であります。本年も会員皆さまを始め、関係者全員が無事故・無災害で元気よく過ごすことをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。





## 更埴地区



## 新しい地区活動

更埴地区長 酒井 重喜

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

早いもので、満期2年目の地区長となりました。地区長の職に就いた当時を思えば、数年ぶりの技能オリンピック、有償になった耐圧試験等時代の変化と同じく我々の地区にも変化が押し寄せてきます。

いつの年も現場パトロールがネックです。専門班に依頼が多くなり自社施工が少なくなった引込工事や計器作業だけとなったお店も少なくはありません。現場パトロールは非常に困難となった今、今後は実行出来る計画を考えていきたいと思えます。夏の定例会では安全大会も取り入れ、消防署と監督署に講話を依頼しました。

今年は元号が変わり消費税も上がる予定で、地区としても役員改選の年です。さまざまな行事や問題を抱える日本ですが、2020年は東京オリンピックも開催されます。2年後には技能オリンピック大会参加も控えております。今深刻な問題でもある人手不足は地区においても同様であり、今後の役員人選でも問題が山積です。長期では10年にも及ぶ役員仕事。今後は世代交代も考え、若い人達に積極的に地区行事参加をお願いして若返りを図りたいと思えます。



今年の干支であるイノシシは猛進をしますが、周りの気配にも気を付けるとの事です。今後の更埴地区役員人選又会員の活動にも創意工夫をして取組みたいと考えます。

今まで大勢の方のご指導・ご協力ありがとうございました。

## 長野東地区

## 新しい波

長野東地区長 町田 幸司



新年明けましておめでとうございます。

平成31年のスタートです。そして平成という時代が幕を下ろす事になります。新しい時代への期待を抱きながら過ごす年になるでしょう。

また地区再編成がされてから早くも二年が経過します。この間を振り返ってみると様々な変化がありました。無断工事に対する業務制裁処置・地区行事の簡素化・技能訓練の強化と時代の流れで幾つかの変革をしました。今年も変化の波は続くと考えられます。地区会員様には今年もご協力とご理解をまずお願いいたします。

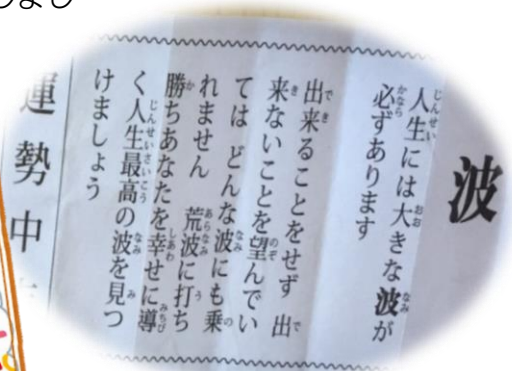


2019年は亥年です。「亥」という字には、発芽に備えて種の中に生命力を蓄える時期という意味があるそうです。また、いのししと言う

と必ず「猪突猛進」と言う言葉が頭に浮かびます。我々電気工事業に求められる技術力は急速に多様化・高度化しています。電気工事だけでなく情報・通信の弱電系そしてエネルギー関連をトータルで要求される時代に入っています。この変革の年に十分企業内部の充実と目標を定めて突き進む突破力を発揮しましょう。

私事ですが正月善光寺に初詣に出かけました。先年末で長野デザインウィーク善光寺表参道イルミネーションが終了しましたが、年はじめでもかなりのインバウンドが訪れており観光振興に成果があることに驚きました。善光寺でも年々変化が起こっています。やはり時代と共に変化・変革・改革は必要だと感じました。おみくじを引くと【運勢 中吉】キーワード【波】と出ました。直感で今年は何かある・・・と感じてしまいました。何かあるか楽しみです。

最後に、皆様にとって2019年が良き年になりますよう祈念しております。



## 中野・飯山地区



# 地区統合から2年

中野・飯山副地区長 村石 桂太郎

2019年新年あけましておめでとうございます。

電気工事業工業組合長野支部、長野電気引込工事センターの地区の再編から今年3月で1期2年が過ぎようとしています。

昨年12月に地区の役員会を開催し、2年間今までの地区を中野ブロック飯山ブロックと分けて事業、集金を行っていたブロック制度をやめて、来年度から完全統合しようという事に決定をしました。具体的には今までブロック単位で行っていた定例会を年4回地区単位で行う。地区会費は年36,000円にし、中野ブロックが今まで行っていた口座引き落としにするなどを決めましたが、今まで中野市、山ノ内町、飯山市で行っていた電気使用安全月間の「ひとり暮らしのお年寄り世帯の電気配線診断」をどうするか、新聞など配布物の配布方法どうするか、地区の役員の構成をどうするかなど課題はたくさんありますが、ひとつひとつクリアをしていかなくてはいけないと思います。南北約45kmにわたり、移動も2時間くらいかかる広範囲にわたる地区なので集まるのも大変ですが、ブロック制度をずるずる引きずっていてもただ先送りするだけなので、ここで完全統合をする事に決定した訳です。

今年になって中部電力飯山営業所の永井所長さんが見えられ、今年低圧申込み部門の長野営業所へ移行のお話がありました。今までは定例会や各会合後の懇親会などで飯山営業所の所長、各課長さんなどと懇親を図ってきましたが、今後はどういう形でのお付き合いになるのか、地区大で我々と電力さんと関係が益々稀薄になっていきそうですし、業務の流れが中部電力から引込工事センターへ、引込センターから地区へという流れが増えていき、引込センターの役割が大変重要になってくると思います。

5月には平成が終わり新しい元号に変わります予定です。10月には消費税が8%から10%に上がります。インターネット申込みなど中部電力さんの業務形態もどんどん変わっていきます。今まで続けてやってきたことができなくなってきている時代ですが、この変化に対応し、人と人との関係を大事に中野・飯山地区をより良い地区会にしていきたいと思っています。





# 足元を しっかりと見据えて

## 長野西地区



長野西地区長 伊東 敬晃

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこと、お慶び申し上げます。一昨年4月より新体制でスタートし、定例会、保護具防具耐圧試験・測定器校正試験、電気使用安全月間行事と、順調に行事を消化できつつあり、間もなく1期が終わろうとしております。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

この1期を振り返ると、重大なコンプライアンス違反があり、中部電力関係者様、長野電気引込工事センター役員様にお忙しいところ、ご足労とご指導を頂き大変申し訳ございませんでした。「受注外業務(無断工事)施工禁止の再徹底について』『無断工事は、作業安全、公衆保安、施工品質等の阻害とリスクならびに、法令・契約違反などお客様、社会からの信頼失墜を招く行為』と再三お願いしたにも関わらず、昨年また、同様の事案が発生してしまいました。対岸の火事とせず、我が事として自社を振り返り、コンプライアンスの遵守を徹底して頂きたいと思っております。

地区の再編に伴い、それまでブロックごとで行ってきた活動を地区で行うこととなりました。ゴルフコンペもその一つで春と秋の年2回、会員と中部電力長野営業所、中部電気保安協会、メーカー各社、電材店各社の親睦のため開催しています。30年10月19日に第4回目が妙高高原ゴルフ倶楽部にて開催されました。いつもは長野国際カントリークラブで開催してきましたが、予約が取れずたまには別のところだと、8組30名の参加で行われました。朝から楽しいゴルフですが、夜も名幹事のもと賑やかな表彰式が開催されます。メーカー・電材店各位には賞品をご提供頂き大変ありがとうございます。栄えある優勝者は(株)町田電機商会の宮川浩さんでした。おめでとうございます。今年も開催していきますので多くの方の参加をお願いします。また、支部主催で地区対抗コンペを開催しようという声もありますので、私自身「下手の横好き」で



すが参加していきたいと思います。ブロックごとの活動で他に研修旅行がありました。昨年、東・西地区合同の有志で研修旅行会が発足されました。積み立てをして、2年に1回くらい研修旅行に行こうということになりました。いずれも有志による活動ですが、関係が希薄となる中、会員同士や中部電力はじめ関係各所と懇親を深めるいい機会だと思っております。

また、今年中部電気工事協力会連合会の『引込および内線工事技能オリンピック大会』が開催されます。我々長野西地区が当番となり、選手を選出し出場します。関係各位の皆様のご協力をお願いいたします。

ここ数年、我々を取り巻く環境が大きく変わってきています。来年4月からは、電力が小売り事業と送配電事業に分離されます。大きな転換期を迎えることとなります。今年も亥年で「猪突猛進」といいますが、うっかり通り過ぎてしまわぬように、足元と周囲を見ながら注意して進みたいものです。

最後になりましたが、今年も皆様方にとって佳い年となりますように心より祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。



## 須高地区

# ルールは守る

須高地区長 竹前 廣克

新年おめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。昨年は、地区事業にご理解、ご協力いただき順調に進めていられる事に御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風が多く発生し、自然災害も各地で起こり大変な年でした、須坂市では台風 21 号の強風により傷ついて、落果しなかったリンゴを「ふるさと納税返礼品」として販売しヒット商品になりました。

引込センター須高地区は、30 年度「無断工事」が発生して、長野センターとしては、29 年度から連続となり中部電力様、長野引込工事センター役員様には大変ご迷惑をお掛けしました事、お詫び申し上げます。29 年 12 月 4 日長野地域職業訓練センターでの勉強会・30 年 5 月 24 日須坂訓練所での意識改革とルールの教育・30 年 11 月 27 日第一勤労者研修センターでの緊急定例会を行いました。事故が発生するたびに、長野電気引込工事センターは事故報告書を作り県の協力会に提出し処分を受けます。処

分の期間中は当該工事店に出向き指導・教育を行います。中部電力関係者様、引込センター役員様、センター長様にはお忙しいなか、都合をつけて指導・教育を行っていただいております。会員皆でルールを守って、安全に品質の良い仕事をしてください。

また、定例会でネット申込のシステムに関するご意見・質問等は、中部電力様と協議して使いやすいシステムにしていきましょう。

今年は、役員改選期になります。須高地区今後の体制を会員皆で考え、方向を決める、いい年になりますように願います。

電気使用安全月間で、須坂市臥龍公園の配線診断を行っている作業状況が、電気新聞・新建新聞で報道されました。電気新聞の梯子を押さえている、後ろ姿は長野営業所の和田所長様です。

# 電気新聞

2018年(平成30年)

9/3 (月)

第28620号

©日本電気協会2018

ENERGY &amp; ELECTRICITY

長野電工組

## 公園の電気設備診断



安全に電気を使用できるように、配線診断や灯具の点検などを行った

## 漏電火災を未然に防止

長野県電気工業組合長野支部須高地区(竹前廣克地区長)と長野県電気工事協力会(長野市、百瀬正容社長)は、長野県須坂市にある臥龍公園の配線診断を行った。8月の電気使用安全月間の一環で、今年で8回目。中部電力長野営業所(和田博明所長)と協賛し、漏電による火災を防ぐ目的で実施している。

当日は、長野県電気工業組合長野支部須高地区組合員7人と中部電力長野営業所員7人が作業を実施。配線診断や灯具の点検と清掃、須坂市をはじめとする周辺地域を広報車で巡回した。

作業を終えた竹前地区長は「皆さまに安心して公園を使用して頂けるよう地域貢献できた。今後も続けていきたい」と意欲を示した。

臥龍公園管理事務所の坂田温所長は「毎年、プロの目で設備などを確認してもらえてありがたい。さらに安心安全と思える公園となった」とコメントした。

Tea Time

長野支部版 / スピーカーズ・コーナー



## 自転車に乗って



須高地区 藤澤 一彦（藤沢電気工業株式会社）

自宅から歩いて約30分の所に農協のバス停があります。この自宅から農協のバス停までの道は、毎朝私が犬と散歩をしている道です。

ある日いつものように散歩をしていると突然、犬が道に座り込んでしまいました。どうやっても動こうとしないので仕方なく抱きかかえて自宅まで戻りました。その後、犬を獣医に診てもらったところ「この犬の寿命は10年から15年ですよ。人間ならば70歳は越えていますよ。長生きをしている方ですよ」と言われ、「俺も今年で66歳になるところ。正直参った・・・」と思いました。

そんなこともあり去年の暮れに足腰を鍛えようと思い立ち、自転車を購入してしまいました。ウェアも一式揃えてはみたものの、なかなか外に出てサイクリングまでいかないのです。そこでこの支部通信をきっかけに、外に出て自転車で走ってみようと思っています。まだまだ寒いので、温かい日を狙って自転車で走りながら体を鍛えようと思っています。



# 改元目前

長野西地区 千野 貴文（株式会社旭電気商会）

「平成が終わる…」私は平成元年に社会人デビューしたので、このところ感慨深く日々を過ごしています。

将棋界の至宝「羽生善治永世七冠」は、平成元年に初めてタイトルを獲得しました。そして、平成の終わりに全てのタイトルを失いました。ファンの私には、時の移ろいを実感するそのものでした。

今、長女は大学受験の真っ只中！共通第1次試験がセンター試験に移行したのは、平成元年度でした。そのセンター試験が来年で廃止されます。高校1年生の次女は新しい共通テスト等を受験します。改元とほぼ足並みが揃った「センター試験」は、平成の教育制度とって良いかもしれません。

すっかり定着した「消費税」は、平成元年に導入されました。以降30年を経て10%になる見込みです。平成はバブルの終焉に始まり、ここまで株価が平成元年の最高値を上回ることはありませんでした。

平成には過激な事変が沢山ありましたが「アメリカ同時多発テロ」は衝撃的でした。皆で入った寿司屋で、ワールドトレードセンターに旅客機が突入する映像を見て息を呑みました。たまたま、そのグループの仲間がニューヨークに行っており連絡がとれず、宴会をせずに皆で帰宅しました。仲間はなんとか帰国できましたが、この日を境に感情が激しく交錯する世界情勢に日本は飲み込まれていきました。

平成が災害の時代であった印象は拭えません。強い地震は枚挙にいとまがなく「阪神淡路大震災」「東日本大震災」では瞬く間に数え切れない命が奪われました。当時、自宅が倒壊して子どもを失った話に涙があふれました。局地的な集中豪雨「ゲリラ豪雨」も当たり前となり、被災と復旧をくり返しています。自然の猛威に人間は翻弄されるばかりです。

平成の光明は、日本のスポーツ選手が本当に強くなったことです。あの「長野冬季オリンピック」以降、日本人メジャーリーガー、サッカー日本代表はもちろん、水泳、体操、レスリング、卓球、バドミントン、スキー、スノーボード、スケート、カーリング等々、日本の選手達はひたむきで明るく、メダルを獲っては囁っていました。新元号の幕開けは、東京オリンピックです。新しい時代に勢いをつけてくれることを期待しています。





長野東地区 伊藤 邦雄  
(株式会社三恵システム)

幼少の頃お祭りと聞くと、子供神輿・神楽それと神社境内の出店が楽しみで、はしゃいでいる頃を思い出します。最近では少子化等で子ども達も少なく、塾やサークルなどで忙しい子ども達も多いと

聞きます。地域の行事に参加する人々が少なく、寂しくなっているのが現状だと思います。

私の暮らしている場所は古牧地区の西側、360戸余りの小さな区(中村区)です。20代から60代の若者?が作り上げた「中村500会」(もう数十年にもなりますが、名称の由来を話すと長くなるので割愛します。)があり、その中の有志で「おらほの会」を立ち上げ、地元の「守田廻神社」秋祭りに「芸能奉納祭」を開催しています。早朝より神社の境内に、お酒やビールの空きケースとコンパネでステージを作り、稲穂等で飾り付けをします。観客席も用意して芸能祭の始まりです。子供神輿の奉納、神主のお話の他、近所の保育園の園児による歌とダンス、中学生の合唱部の合唱、地元のサークルの演奏会など etc. その合間に我々おらほの会の中の「平成中村座」が演じる珍寸劇と、「中村本舗」の笑点(大喜利)等で観客の皆さんを楽しませています。

中でも寸劇は、水戸黄門御一行と桃太郎侍が地元に来ての珍騒動(時代背景がめちゃめちゃですが…)。近々の時事ネタも含めたグタグタ寸劇、途中で出演者全員によるダンス(今年はDA PUMPのUSA、JAバンク等)を盛り込んでいます。



「中村500会」のメンバーも、焼き鳥・焼きそば・飲み物等の販売に協力してくれています。

核家族が多い現代、地域の絆・地域貢献等かっこいい言葉はありますが、我々は

お祭りに集まってくれた人達に笑顔と笑いを届けるのが一番と思います。それには芸能奉納祭を開催し、寸劇や大喜利等を演じる自分達自身が楽しまなければ地域の皆さんに伝わらないと思い、頑張っています。

今年で10回目を数える「中村500会」。これからどの位続いていくのかわかりませんが、毎年楽しみに見に来てくれる観客の皆さんの笑顔と笑いを求め、今まで以上に自分達が楽しみたいと思う今日この頃です。

## 地獄谷温泉につかる ニホンザルに学ぶ



更埴地区 大塚 孝男 (大盛電工株式会社)

新年早々、家族そろって渋温泉に行くことになり、ゆっくりまったりの気分で行って行く予定です。

今、渋温泉では、外国人観光客が多いと聞きました。それは、地獄谷の温泉に浸かるサルを見ようと訪れるからだそうです。最近、地獄谷野猿公苑は野生のサルが温泉に浸かる姿が非常に有名になり、欧米人を中心に年間10万人と多くの外国人観光客が訪れるようになりました。海外ではサルは暖かいジャングルに住んでいる生き物というイメージが強く、温泉に浸かるサルを身近に見られるのは珍しいようです。

では、サルはどうして温泉に入るのでしょうか。その昔、最初に入るようになったのは好奇心旺盛な子ザルだそうです。続いてメスザルが真似をするようになり、徐々に温泉に浸かるサルが増えたようです。家族そろってのんびりゆっくり時間の流れのままに過ごしたいからでしょうか。いい湯だな～とのんびりと悩みのないほてった顔はうらやましいかぎりです。

私の実家周辺に現れるサルは農作物を荒らします。今年の秋も、畑に植えてあるかぼちゃを食べに来て、コラーと追い払ってものんびりとかぼちゃを両脇に抱えこちらを向いてニ



コッと笑い、山の中へ消えていったそうです。ゆっくり温泉に浸かるサルたちや畑でのんびりかぼちゃを食べるサルたちから見ると人間は、窮屈なギスギスした生活の中で生きる動物なんだな～と思うのでしょうか。

ちなみに私の小学校から中学迄はあだ名はサルでしたが、「高齢者」に区分される年齢になり、そろそろ風呂に浸かるサルのようになりたいと思う次第です。

今、身体の維持に苦労しています。中性脂肪と体重の増加で悩んでいます。最近、仲間からスポーツジムでダイエットしていると聞き、早速私もサルまねで申込みに行きました。高齢者は会費が安く1ヶ月何度通っても4,500円です。ところが既に3か月支払いを済ませているにもかかわらず、一向に痩せず未だダイエットは出来ていません。お金をかけると痩せるものだと安心していました。3か月で3回しかジムに行っていないのが原因でしょうか。新年にお風呂に入り痩せるのを楽しみに温泉に行つて来ます。

### 2019年 明けましておめでとうございます。

早速、渋の温泉に家族そろって出掛けて来ました。やはり泊り客の中に大人気の地獄谷野猿公苑を目的に来た外国人もいました。旅館もサルのお蔭で商売繁盛の様です。

雪景色を見ながらのお風呂は癒しになります。湯に浸かるおサルさんと同じ気分になれば、少しでも長生きできると思います。お正月料理も美味しく結局正月早々体重が増えて帰ることとなりそうです。



## 昨年 「御神渡り」に 感動し 思うこと

中野・飯山地区 永井 竹彦  
(やまたけ電業株式会社)

天気予報では年末年始は今季一番の寒気による年越し寒波を心配していましたが、明けてみれば今年のお正月も雪も少なく、大変穏やかな新年の幕開けとなりました。雪のないのは生活するうえでは大変楽でありがたいのですが、明らかに地球環境の変化を感じるようになりました。私の住む中野市でも、私が子供の頃は庭でかまくらを作るほどの雪が積もったり、室内でもバケツの水が完全に凍ってしまうほど冷え込んだりしたのですが、今はそんなことはなく、中野市に限らず長野県の冬の様子も、50年前とは様変わりしたような気がします。「凍みる」とか「寒じる」などの方言を昔はよく耳にしたのですが、最近はその底冷えがないせいなのか、また住環境も大変良くなり、外が寒くても室



内に入れば暖房で暖かく、実体験としても「凍みる」「寒じる」を味わう事がなくなってきて、今ではあまり使われなくなっているように感じます。

昨年、5季ぶりに諏訪湖が全面結氷し「御神渡り」が出現したということで、私も早速諏訪湖に見に行きました。お恥ずかしながら、長野県に住みながらこの歳になるまで、一度も「御神渡り」を拝んだことはありませんでした。初めて目の当りにする「御神渡り」は大変神々しく、とても神秘的で感動しました。まさに神様の通られた跡を感じました。今年は諏訪も例年より暖かいようですが、今年も「御神渡り」が出現したらぜひ見に行きたいと思います。しかしこの暖かさでは、今年の出現は難しいのでしょうか。

「雪がなく楽だ。楽だ。」とつい口にしてしましますが、毎年のように起こる自然災害や異常気象が地球温暖化の弊害だとしたら、やはり喜んではいられません。

便利さと地球環境を守ることの両立が出来れば一番良いのですが、私たちも少しは地球のことを考えて、我慢も必要なのでしょう。昔は毎年出現していた「御神渡り」という神秘的な自然現象が年々見られなくなり、やがて忘れられてしまうものにならないようにと心から願います。



## 御神渡り

『はれ朝に かこ かこみ み渡りを をろかみ拝す きへ すわうみ』

### 御神渡りとは

諏訪湖が全面結氷した後、日中気温が上がりが氷がゆるみ亀裂が走りまわります。この亀裂に氷がたまって夜になると凍り、新しく薄い氷がでます。翌日気温が上がると氷が膨張を始め、亀裂に新しく張った薄い氷は両側から押されて砕けてせり上がります。これが繰り返されて御神渡りになると考えられています。

この御神渡りは、諏訪大社上社の建御名方命（たけみなかたのみこと・男神）が諏訪大社下社の八坂刀売命（やさかのみこと・女神）のもとへ通った跡だと考えられています。

## 青年部だより

## 伝統の引き継ぎ



電工組合青年部会長野支部

副支部長 望月 一宏 (株式会社町田電機商会)

地元のことについてお話ししようかと思います。

私の地元には30代から50代くらいまでの有志で構成されたM団体があります。一年通しての活動は、かや取り、どんど焼きのやぐら作り、正月飾りの採取・制作、お花見の提灯飾り付け、盆踊りの提灯飾り付け、その他行事ごとのお手伝いなどがあります。

以前までは、高齢者からなるK団体に行っていたのですが、高齢ということもありなかなか人が集まらなくなってしまうようです。

今は、行事となると各団体が集まってK団体ご指導のもと、正月飾りに使用する松の選定、どんど焼きのやぐらの真ん中の松の選定など行っています。

最初は知らないことだらけで、わざわざ残してあった松の先端を長いから切ってしまうたり、お飾り用の松の形がいまいちわからなくて適当に切ったりとなかなかうまくいかない状況でした。かやとりも予想以上に過酷な場所での作業だったのでほんと驚きました。

今では、ベテランとまではいきませんが、そつなくこなせるようになってきたかと思います。有難いです。これが地元の現状です。他の地域は知りませんが、なかなかこういった団体はないのではないのでしょうか？最近、今時の風習で流されがちですが、良い伝統は残して、子供たちにも教えていければなあと思いま



継続

# 今年の抱負

By 事務局



「毎日、笑顔」  
岸部喜代子



「その時を 楽しむ」  
山本 晴美



「粉骨砕身」  
中村 和久



「今年は  
“2S” をしたい」  
石川 則夫



「日々、  
細やかな事にも  
感謝をする」  
山崎 亜弥

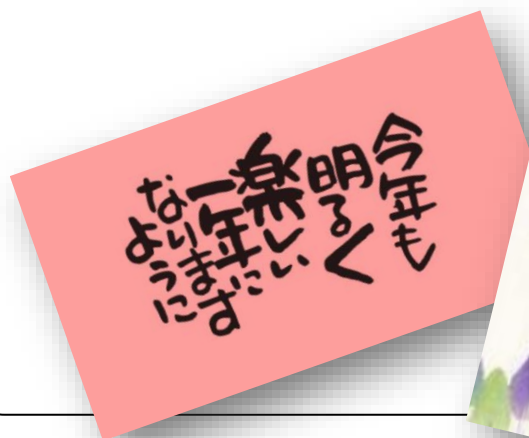
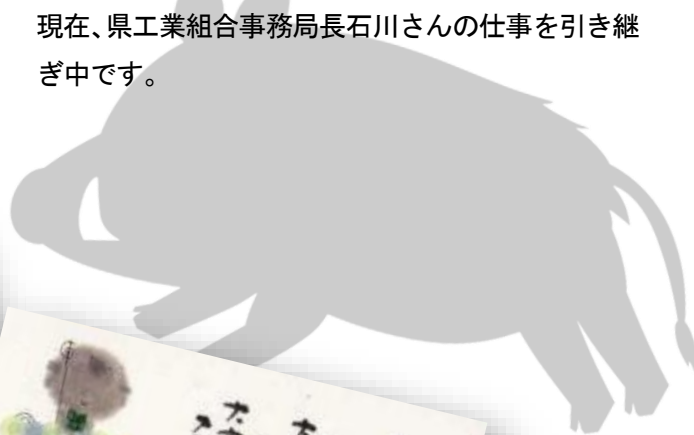


「事務局の仕事を覚え、  
皆様に知っていただく」  
小林 巨樹



引き続き「減量」  
倉嶋 紀子

長野県電気工事業工業組合の新人、<sup>なおき</sup>小林巨樹さん。  
現在、県工業組合事務局長石川さんの仕事を引き継ぎ中です。





1月24日 総務委員会 長野電気会館に於いて

## 編集後記

平成最後の支部通信をお届けします。年末年始のご多用の中、原稿をお寄せいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

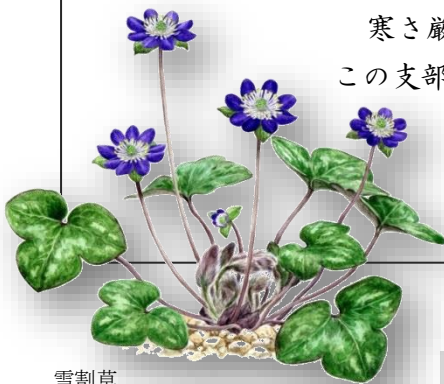
ご覧頂いている支部通信は、昭和59年8月「協力会通信」として創刊しました。平成を、3月発行の第11号で迎えています。当時はB4版両面を2ツに折った、B5版4ページの構成でした。

平成7年の第24号からは、現在のA4版に移行し、ほぼ現在の構成で内容を充実させながら回を重ね、今回75号の発行となりました。

ネット社会となり、紙をベースとして手間暇をかけて発行するこの支部通信のようなスタイルは、姿を消しつつあります。元号も変わりまた新たな時代となった時、この支部通信は果たしてどういう姿になっているのでしょうか。任期中最後の発行となった我々総務委員一同に取りましても、感慨深いものがあります。

寒さ厳しき折、皆様のご健勝をお祈りすると共に、これからもこの支部通信を愛読頂くことを切にお願いいたします。

総務委員担当副支部長 高津 和忠



雪割草

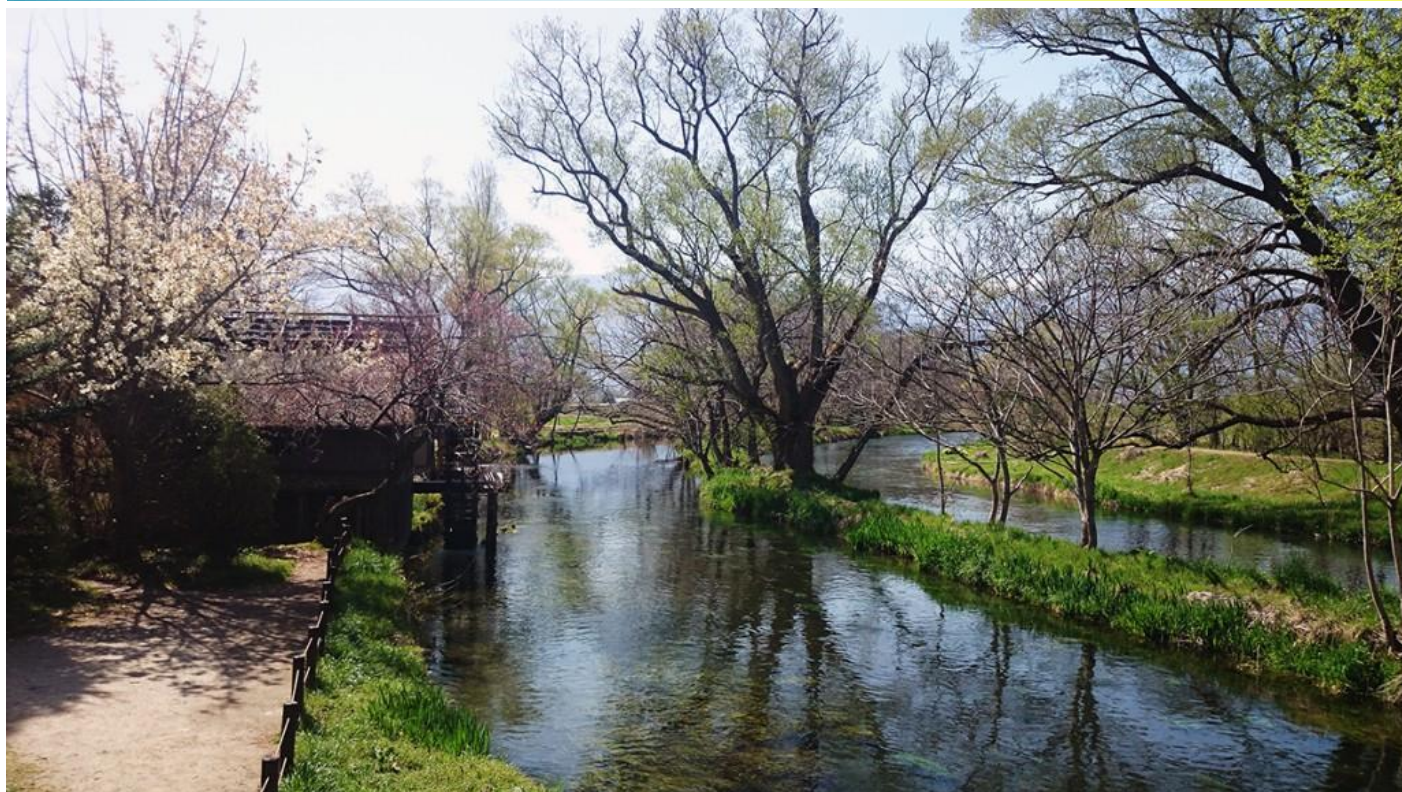
### 編集

担当副支部長 高津 和忠  
総務委員長 竹前 廣克  
総務副委員長 伊東 敬晃

総務委員 渡部 進  
村石桂太郎  
蟹澤 佳治  
(事務局 倉嶋)

「見える化」と「機器の自動制御」による省エネ

# HEMS



お客様にご満足いただける  
より安心安全な環境づくりをお手伝いします  
本年もよろしくお願ひ申し上げます

ながの電材会

大沢電機株式会社

昭和電機産業株式会社

株式会社デンセン

株式会社ニッセー電機

(五十音順)

